

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

感染拡大防止に向けた3密回避の徹底など、皆様のご協力により、新型コロナウイルスの緊急事態宣言は3月7日までの予定であったものが、1週間早まったの解除となりましたが、感染リスクは未だ存在しており、少しでも気が緩んでしまえば、また爆発的な感染拡大に至ってしまう恐れもありますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、この様な厳しい情勢を踏まえつつ、県議会2月定例会が今月25日までの会期で開催されており、来年度予算案等を審議しておりますが、歳入面では県税と地方譲与税の合計額が、リーマンショックの影響が直撃した2009年度、赤字決算となった1999年度に次ぐ過去3番目の減収幅となる見込みであり、更に本県財政は単年度の歳入だけで歳出を賄うことができず、多額の基金取り崩しに依存する予算編成を継続していますが、来年度は収支不足額が近年にない水準に拡大しており、極めて厳しい財政状況となる見込みであります。

その一方で、歳出面では新型コロナウイルス感染症の克服はもとより、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた成長戦略など「15の柱」を重点に編成されており、議会最終日までしっかりと予算内容をチェックしてまいります。引き続き日本の成長エンジンとして我が国の発展をリードしていけるよう努めてまいります。

また、今月11日をもって東日本大震災の発災から10年の節目を迎えましたが、自然災害への備えの意識が以前と比べ薄らいでいるようにも感じますので、「15の柱」の一つにも掲げられていますが、感染症対策に加えて自然災害の備えの充実についても引き続き取り組み、誰もが安心して生活できる社会づくりに努めてまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 